

「SDGs私募債」利用

光が丘学園に6万円寄付

リペア入所児童支度金に活用

【岩見沢】賃貸入居者向け24時間サービスを提供するリペアサービス(札幌市)はこのほど、空知信用金庫の「SDGs私募債」を利用し、児童養護施設を運営する社会福祉法人光が丘学園に6万円を寄付した。

SDGsは国連が2030年までに達成を目指す持続可能な開発目標。空知信金では同私募債の発行額の0.2%を発行事業者の指定する団体に寄付して



左からリペアサービスの富田訓司社長、光が丘学園の深田倫男理事長、野沢修一施設長、空知信金の大場貞晴業務執行役員

た。
この日は、空知信金で贈呈式を実施。同社の富田訓司社長「美唄市出身」は「子どもたちにも今のままの社会を残していくかという問題意識とともに、児童養護に関心があった。少しでも役に立てれば」と述べた。

光が丘学園から空知信金と同社へは感謝状を贈り、深田倫男理事長は「未来を担う子どもたちのため、当法人としてもSDGsの実践に努めたい」と感謝。寄付は入所児童が社会に出る際の支度金として活用するという。

【末永直樹】